

令和8年度

シラバス(専門教科)

～生活情報科 1年～



鹿児島県立伊佐農林高等学校

生活情報科 1年 専門教科

- 1 ビジネス基礎
- 2 簿 記
- 3 情 報 処 理
- 4 ファッション造形基礎

<h1>ビジネス基礎</h1>	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第 1 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	(1) ビジネスに関する基礎的な知識・技術を身につけます。 (2) 経済社会の一員としての心構えをもって、ビジネスの諸活動に適切に対応できるような能力・態度を育てます。
使用教科書・副教材等	ビジネス基礎, ビジネス基礎ワークブック (東京法令出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	1章 商業の学習とビジネス 6章 ビジネスと売買取引 1 売買取引の手順 2 代金決済 7章 ビジネス計算	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業の学習とビジネスとの関係を理解しましょう。 ・ 商取引における契約の重要性, 通貨の種類やその発行主体, 小切手, 手形の概要について理解を深めましょう。 ・ 日常生活で見かける商品の割引を例に, 割合の基礎である分数・小数などの表示方法を理解することで, よりよい消費者をめざしましょう。 ・ 原価と売価の計算方法を理解し, 売価と利益と原価の関係を理解し, 賃金にどのように反映されているか考えてみましょう。 	
2 学 期	3章 経済と流通の基礎 1 経済のしくみとビジネス 2 経済活動と流通 4章 さまざまなビジネス 1 ビジネスの種類 2 小売業・卸売業 3 物流業 4 金融業 5 情報通信業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品が物の売買だけでなく, サービスも含まれることや経済の仕組みを理解し, 生産・流通・消費の経済サイクルの中で, 流通の持つ様々な役割を理解しましょう。 ・ 各種隔たりを埋めるものがビジネスであり, 流通, 金融, 保険が必用な理由やしくみを理解することで経済社会について理解を深めましょう。 ・ 情報通信を含むサービスの意味を理解させるとともに, サービス業の今後や新しいサービスについて事例を通じて学習していきましょう。 	
3 学 期	2章 ビジネスとコミュニケーション 5章 企業活動の基礎 1 ビジネスと企業 2 マーケティングの重要性 3 財務諸表と税 4 雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界にはさまざまなマナーがあることに理解を深め, 社会生活を有意義に過ごすことにつなげましょう。 ・ 企業の種類を学習します。地元企業に関するレポートを作成します。 	

(2) 評価の観点, 内容及び評価方法

皆さんの学習状況は, 「知識・技能」, 「思考・判断・表現」, 「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	ビジネスに関する基礎的・基本的な知識と技能を身に付け, 経済社会の一員としての心構えについて理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テストや定期テスト ・ ノートの状況 ・ 発表の内容やしかた ・ 配布物の管理 ・ 課題やレポートの内容や提出状況 <p>※「商業」の各授業は, 配布資料等をいかに自分で管理するかをみています。 ※メモが自分を助けます。</p>
思考・判断・表現	ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して思考を深め, 基礎的・基本的な知識と技術をもとに, ビジネスの諸活動に携わるものとして適切に判断し, 創造的に表現する能力を身に付けている。	
主体的に学習に取り組む態度	経済社会の一員として望ましい心構えと関心を持ち, ビジネスに関する基礎的・基本的な知識と技能をもとに, ビジネス分野における諸活動や社会の課題に対し, 主体的に取り組み思考して取り組んでいる。	

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの

簿記	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第 1 学年

学習到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	(1) 企業において日常発生する取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を身につけます。 (2) 取引の仕訳から勘定の記入を経て決算に至るまでの簿記の基本的な仕組みについて理解を深めます。 (3) 作成した帳簿、伝票、仕訳帳や貸借対照表、損益計算書を通してビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を育てます
使用教科書・副教材等	新簿記新訂版(実教出版), 最新段階式簿記検定問題集3級改訂版(実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	第1編 簿記の基礎 第1章 簿記の基礎 第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表 第3章 収益・費用と損益計算書 第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と転記	<ul style="list-style-type: none"> 簿記を学ぶ必要性を理解し、資産・負債・資本の基本概念とそれらの相互関係及び貸借対照表の構造について理解できるようになりましょう。 収益・費用の基本概念とそれらの相互関係及び損益計算書の構造について理解できるようになりましょう。 勘定の記入に関しては、勘定の役割を理解し、仕訳と転記の方法が身につくようになりましょう。 	
2 学 期	第6章 仕訳帳と総勘定元帳 第7章 試算表と精算表 第9章 決算 第22章 伝票の利用 第2編 取引の記帳 第10章 現金・預金 第11章 商品売買取引 第12章 掛け取引 第14章 その他の債権・債務取引	<ul style="list-style-type: none"> 取引の仕訳から勘定の記入を経て決算に至る簿記一巡の手続きの基本的流れについて理解できるようになりましょう。 入金伝票、出金伝票、振替伝票の作成方法及び集計、転記の方法を身につくようになりましょう。 簿記上の現金の入金・出金及び当座預金の預け入れ、引き出しなど、現金と当座預金に関する基本的な取引の仕訳について理解できるようになりましょう。 	
3 学 期	第3編 決算 第18章 決算整理 第19章 精算表 第20章 帳簿決算	<ul style="list-style-type: none"> 決算整理の意味及び手順が理解できるようになりましょう。 貸借対照表と損益計算書の作成方法を理解できるようになりましょう。 	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技術	簿記に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、基本的な仕組みについて理解している。 簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、適正に会計処理を行う手順を把握し、その技術を適切に活用している。	<ul style="list-style-type: none"> 単元テストや定期テスト ノートの状況 発表の内容やしかた 配布物の管理 課題やレポートの内容や提出状況
思考・判断・表現	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に係るものとして適切に判断し表現する能力を身に付けている。	※「商業」の各授業は、 <u>配布プリントを自分で管理する</u> ようにしています。 ※ <u>自分オリジナルの参考書になるように配布プリントを綴じると良いです。</u>
主体的に学習に取り組む態度	簿記について関心を持ち、適正な会計処理を行うことを目指して主体的に取り組んでいる。	

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの

情報処理	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第 1 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な知識・技術を身につけ、ビジネスの場面でより効率的・効果的に推進する資質・能力を高める。
使用教科書・副教材等	最新情報処理（実教出版）・全商情報処理検定模擬試験問題集ビジネス情報部門3級（実教出版） 全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集3級（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	※ 伊佐農林高校で情報活用能力を高めるためのオリエンテーション 第1章 企業活動と情報処理 2節 情報モラルと法規 3節 情報デザイン 第4章 ビジネス文書の作成 2節 基本文書の作成 第5章 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県域アカウントの確認、「チーム農林」への参加、学校のタブレットの管理、情報モラルの確認をします。 ・ 身近な事例から情報の価値やデザインを考え、知的財産として情報を正しく取り扱うことの大切さに気づき、ICT社会を支えるビジネスについても理解を深めましょう。 ・ ワープロソフトの利用に関する知識と技術を習得し、ビジネス文書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領について理解し、基本的な社外文書が作成できるようになりましょう。 ・ 基本的な技法を習得し、ビジネスにおける効果的なプレゼンテーションを考え、作成できるようになりましょう。 	
2 学 期	第2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 1節 ハードウェア 2節 ネットワークのしくみシステムの形態や識別技術 第3章 情報の収集と分析 1節 表計算ソフトウェアの活用 2節 関数の利用とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報通信ネットワークの仕組みとビジネスの場面での情報の活用方法を理解できるようになりましょう。 ・ コンピュータの基本的な機能と構成、ハードウェアとソフトウェアの種類と機能について理解し、それらをビジネスの場面で活用する基本的な技術を身につけるようにしましょう。 ・ 基本的な操作や計算式、関数、グラフについて理解し、ビジネスの目的に応じて適切な表やグラフを作成する技術を身につけるようにしましょう。 	
3 学 期	5節 問題の発見と解決の方法（アルゴリズムとプログラミング）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネス上の問題をアルゴリズム的思考で解決することで、業務をより効率的に推進することにつながる基本的なプログラム技法について理解できるようになりましょう。 	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	企業において、情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テストや定期テスト ・ ノートの状況 ・ 発表の内容やしかた ・ 配布物の管理 ・ 課題やレポートの内容や提出状況
思考・判断・表現	企業の情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	
主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	※「商業」の各授業は、 <u>配布プリントや実習等のデータを自分で管理するようにしています。</u>

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの

<h1>ファッション造形基礎</h1>	単 位	2 単 位
	学科・学 年・学級	生活情報科 第 1 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	1 被服の構成、被服の材料の選択、被服製作に関する基本的な知識や技術を習得する。 2 身につけた知識や技術を活用し、衣服を造形することができるようになる。
使用教科書・副教材等	ファッション造形基礎（実教出版）家庭基礎（実教出版） 家庭科技術検定問題集（基礎編）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	衣生活をつくる 衣服の素材について学ぶ 洋服の製作 ショートパンツ製作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被服の機能について理解する。 ・ 被服素材の特徴や表示を理解する。 ・ 縫製に関する基礎的な知識・技法を習得する。 ・ 洋服の製作を通して基礎的な知識及び技術を習得する。 	家庭科技術検定被服製作3級の実施
2 学 期	衣服の構成 洋服の製作 ショートパンツ製作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立体構成と平面構成を理解する。 ・ 洋服製作の基礎的な知識及び技術を習得する。 (1) 地直しの仕方・待ち針の打ち方・印の付け方 (2) 手縫い (3) ミシン縫い 	家庭科技術検定被服製作2級の実施
3 学 期	ミシン縫い・手縫いの復習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手縫いやミシン縫いの技術を応用した作品を製作する。 	小物の製作

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解し、その技術を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テストや定期テスト ・ ファイルの管理状況 ・ 発表の内容やしかた ・ 課題やレポートの内容や提出状況 ・ 実習中の態度 ・ 出欠状況 ・ 製作物の完成度
思考・判断・表現	被服製作に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決することができる。	
主体的に学習に取り組む態度	衣生活の充実向上を目指して自ら学び、主体的かつ共同的に課題に取り組むことができている。	

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの